

## ハトロン州の3つの学校に対する「草の根・人間の安全保障無償資金協力」引渡し式

7月4、5の両日、タジキスタン南部ハトロン州に出張中の相木大使は、バルジュヴォン郡サイフ・ラヒミ地区ザルニソル村第8学校、クリャブ市ダハナ地区グルテッパ村第38学校及びハマドニ郡トゥルディエフ地区ボギストン村第35学校をそれぞれ訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された新校舎建設プロジェクトの引渡し式に出席しました。

相木大使は各引渡し式の挨拶で、教育は日・タジキスタン二国間協力における重要な分野であり、今回建設された各校舎が適切な維持・管理の下で長く利用され、新校舎で学んだ児童・生徒たちが将来、ハトロン州、そしてタジキスタンの発展に貢献することを期待する旨述べました。これに対して、各被供与団体の代表からは日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

なお、タジキスタンでは1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計441件、総額約3,590万ドルに上るプロジェクトが実施されましたが、そのうち139件が教育分野に関するものです。



ザルニソル村第8学校



グルテツパ村第38学校



ボギストン村第35学校